

和歌山工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	環境計画学	
科目基礎情報							
科目番号	0018		科目区分	専門 / 選択			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 1			
開設学科	環境都市工学科		対象学年	4			
開設期	後期		週時間数	1			
教科書/教材	[教科書]花木ほか14名 「環境工学基礎」実教出版						
担当教員	鶴巻 峰夫						
到達目標							
①我が国における環境に関する事象の現状と課題について理解する。(C) ②環境計画の枠組みと目的と立案すべき内容について理解する。(C)							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
環境政策	我が国の環境政策の内容を理解し説明できる。		我が国の環境政策の内容を理解できる。		我が国の環境政策の内容を理解できない。		
産業と環境	産業界で実行されている環境管理の手法と技術が理解できる。		産業界で実行されている環境管理の手法が理解できる。		産業界で実行されている環境管理の手法が理解できない。		
環境アセスメント	環境アセスメントの制度的枠組みが理解でき、実施計画ができる。		環境アセスメントの制度的枠組みが理解できる。		環境アセスメントの制度的枠組みが理解できない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	環境保全・創造のための体系的施策展開を行う環境計画の目的・位置づけを理解するとともに、環境計画に必要な環境評価手法の内容を学習する。						
授業の進め方・方法	講義により行い、拡張的内容について課題を課して自主的な学習を促す。						
注意点	学修単位1単位科目(授業8回)である。						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	ガイダンス, 社会と環境の歴史			我が国における公害・環境問題の歴史を学び, 環境計画の必要性を理解する。	
		2週	日本の環境政策 (1)			我が国における環境保全・創造にかかる施策を学び環境計画の枠組みを理解する。	
		3週	日本の環境政策 (2)			我が国における環境保全・創造にかかる施策を学び環境計画の枠組みを理解する。	
		4週	産業と環境 (1)			我が国の産業界で行われている環境問題への取組について理解する。	
		5週	産業と環境 (2)			我が国の産業界で行われている環境問題への取組について理解する。	
		6週	環境アセスメント (1) 環境アセスメントの枠組みと手続き			環境アセスメントの手続きと枠組みが説明できる。	
		7週	環境アセスメント (2) スコーピング			スコーピングの内容を理解して環境アセスメントの内容を説明できる。	
		8週	環境アセスメント (3) 環境保全措置と予測・評価			環境アセスメントでの環境保全措置について説明できる。	
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	レポート	合計
総合評価割合	60	0	0	0	0	40	100
配点	60	0	0	0	0	40	100